

道の駅めぐみ白山⇄トレインパーク白山一体的賑わい創出事業

団体名●新ゼミナール／代表者名●新 広昭（副学長・教授）

はじめに

本事業は、白山市と本学との包括連携協定に基づいた事業の一環として実施しているものである。

新ゼミでは白山市の「道の駅めぐみ白山(以下、道の駅)」の賑わい創出と同施設をゲートウェイとした白山手取川ジオパークへの誘客活動を実施してきた。また、2024年3月に北陸新幹線の体験型施設である「トレインパーク白山(以下、トレインパーク)」がオープンし、さらに2025年6月には同施設にドクターイエロー(初代)が展示された。白山市では両施設の一体的賑わい創出を目指すこととなり、新ゼミに取組みの働きかけがあったことから、道の駅とトレインパークとの一体的賑わい創出活動に取り組むこととなった。

活動内容

①地元特産品のSDGs商品としての情報発信活動

道の駅で販売している商品について、SDGsの観点からそれぞれの商品进行分析し、SDGs商品として紹介するPOPパネルを作成し、施設内に掲示した。



②来場者交通情報調査

道の駅とトレインパーク間で人の行き来がどれくらいあるのかを把握するため、9月6日(土)に両施設の駐車場にてビデオカメラで車のナンバーを撮影し、両施設とも訪れている車の台数やどこから来ているかについて分析した。

③トレインパーク白山来場者アンケート

本アンケートはトレインパークへの来場目的や二次交通の充実に向けて現状を把握するため、2025年8月1日(金)および9月6日(土)の2日間、来場者アンケートを実施した。

④両施設でのスタンプラリーの実施

アンケート調査の結果、両施設ともに訪れていた車の割合(重複率)はトレインパークで11.2%、道の駅で4.7%とまだまだ低いことがわかったことから、実際に両施設に行って貰う方を増やすために、2025年12月27日(土)にスタンプラリーを実施し、約150人の参加を得た。



成果の情報発信

本活動は、2026年3月6日に砂防会館(東京都千代田区)で行われた国土交通省主催の「道の駅×大学連携事例発表会」にて全国10大学の一つとして発表した。

